

様々な方との 出会いを通じて



岩手県政策地域部
市町村課

中田 哲平

平成25年入省

PROFILE

Nakada Teppei

平成25年 4月 総務省採用
自治行政局行政課総務室
平成26年 4月 自治行政局行政課
平成27年 4月 現職



とある 一週間

月曜日

翌日の出張に向けて段取りの確認や資料の準備を行う。全国各地を訪問する機会があり、勉強になる経験です。

火曜日

被災市町村の派遣職員の要請を行うため、課長の随行として神奈川県に出張。

水曜日

翌日の課長協議に向けて資料を作成。疑問点等が生じた場合は上司に相談します。

木曜日

合併に関する調査結果の報告書について課長協議。ご指摘をいただき完成に近づきます。

金曜日

今週の担当業務の進捗状況を確認し、来週に向けた準備。金曜日なので早めに仕事を切り上げ同僚と飲み会へ行きます。

🔊) 岩手県で働くということ

私は今、総務省職員としてではなく、岩手県職員として働いています。市町村課に所属しており、調整担当として被災市町村の人材確保や県内合併市町の検証に関する業務などを行っています。具体的には、被災三県が合同で各都道府県に訪問する際の日程調整・資料作成、被災市町村に派遣されている応援職員のメンタルヘルスケアや県内の合併市町の現状を調査のうえで報告書を作成する業務などであり、復興関係から合併関係まで様々な種類の業務を行っています。

現在の業務では市町村職員や都道府県職員と接する機会が多くあり、様々な立場の方がそれぞれの思いを持って、地域のために働かれていることを実感することが多くあります。

地方とのつながりの強い総務省職員として今後働くにあたっては、地方の立場や考え方を理解することは必要不可欠であり、このような経験ができることは今後にとって大きな財産になると思っています。

🔊) やりがいのある職場

総務省で働くまでは、国家公務員はもの静かな印象を持っていましたが、実際には、日常的に様々なところで議論が交わされており、一人一人が地方のためにどうしたらよいかということ真剣に考え、熱い気持ちを持って業務に臨んでいることがわかり、それまで持っていた印象が大きく変わりました。また、先輩方のそのような姿を見て自分もそうなりたいと強く思いました。

さらに、総務省では都道府県等の職員や他省庁の職員の方も一緒に働いており、一つの職場に様々な背景を持った人々が集まっています。そのため、職場で新たな出会いが数多くあることはもちろんのことながら、業務に関しても様々な視点や考え方に接することで、自らの欠点や苦手な点などに気付きやすく、改善することができる職場です。

このように、総務省は非常にやりがいのある職場なので、ぜひ一度職員の話聞いてみてください。



Private Time

休日は職場の同僚と県内の観光地等に遊びに行ったりしています。岩手県は面積が広大で県内でも北と南では全然環境が違うので、様々な体験ができ非常に面白いです。

また、東北ならではの雪合戦や競馬場でのリレーマラソンなどのイベントに参加し、岩手県だからこそできることを楽しんでいます。